

厚生労働科学研究費補助金

労働安全衛生総合研究事業

**高齢労働者の転倒災害防止に向けた
Occupational Fall Risk Assessment Tool (OFRAT) 短縮版の開発**

令和5年度 総括研究報告書

研究代表者 大須賀 洋祐

令和6年 3月

目次

I. 総括研究報告-----1

高齢労働者の転倒災害防止に向けたOccupational Fall Risk Assessment Tool（OFRAT）短縮版
の開発

国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
老年学・社会科学研究センター フレイル研究部
大須賀洋祐

II. 分担研究報告-----5

Occupational Fall Risk Assessment Tool（OFRAT）短縮版の外部妥当性検証

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所
自立促進と精神保健研究チーム
畑中翔、笹井浩行

厚生労働省科学研究費補助金（労働安全衛生総合研究事業）

総括研究報告書

高齢労働者の転倒災害防止に向けた Occupational Fall Risk Assessment Tool

（OFRAT）短縮版の開発

研究代表者 大須賀洋祐 国立長寿医療研究センター 副部長

本年度は、Occupational Fall Risk Assessment Tool 短縮版（OFRAT-5）を開発するため、既存データを用いて信頼性と予測妥当性の予備的解析をおこなった。また、OFRAT-5 の外部妥当性を検証するための多施設コホートを新たに開始した。本報告書では、1) OFRAT-5 の予備的解析の結果、および 2) 外部妥当性検証集団におけるベースラインデータの集計結果を報告する。なお、2) の詳細は、分担報告書を参照されたい。

研究分担者

東京都健康長寿医療センター

研究員 畑中翔

研究副部長 笹井浩行

筑波大学

教授 中田由夫

東京大学

特任准教授 岡敬之

象に実施した調査データを用いた。研究対象者は、埼玉県内の 18 のシルバー人材センターにおいて、チラシ配布やポスター掲示によって募集した。参加基準は、1)60 歳以上のシルバー人材センターの会員、2)4 日/月以上の勤務実績がある者とした。信頼性検証は 30 名、予測妥当性検証は、ベースライン調査と追跡調査を完了した 1113 名を対象とした。

（イ）倫理面への配慮

本研究は、ヘルシンキ宣言および文部科学省・厚生労働省・経済産業省が定める「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて研究計画書を作成され、東京都健康長寿医療センター倫理審査委員会の承認を得た上で実施されたものである。

1) OFRAT-5 の予備的解析の結果

A) 研究目的

OFRAT-5 の信頼性と予測妥当性を検証した。

B) 研究方法

（ア）研究対象者

予備的解析では、過去に東京都健康長寿医療センターがシルバー人材センターを対

(ウ) 測定項目

予測妥当性の検証で使用した主要アウトカムは、OFRAT の開発で使用したアウトカムと同様に、ベースライン調査から 1 年間に発生した就業転倒回数とした。

OFRAT-5 の評価項目は、OFRAT で使用した 10 の評価項目の中から、簡便性（2 分以内で全評価を完了できること）と臨床的妥当性（就業転倒と関連すること）を加味して次の 5 つを選択した。

- 1) 過去一年間の転倒歴の有無
- 2) 糖尿病の有無
- 3) 転倒リスクを高める薬の使用の有無
- 4) 主観的な聴力の低下の有無
- 5) 敏捷性の低下：ステップテスト ≥ 10 秒

これらの変数を得点化し（該当:1 点、非該当:0 点）、合計得点をリスクスコア（最小値:0、最大値:5）とした。リスクスコアは、臨床的な解釈が容易になるように 3 段階に分類して評価した（0 点:低い、1 点:中程度、2 点以上:高い）。

3 段階評価の再現性は、重み付けカッパ係数を用いて評価した。OFRAT スコアの予測妥当性は、従属変数を就業転倒回数、独立変数を 3 段階のグレード評価（0 点を基準群）、性・年齢を調整変数として投入した負の二項回帰モデルから検証した。

C) 研究結果

1 年間の追跡期間中に、112 名（10.1%）が就業中に転倒を経験し、その総数は 214 回であった。

OFRAT-5 の 3 段階評価の加重カッパ係数は 0.74（95%信頼区間: 0.52-0.95）であった。OFRAT 得点のグレードが上昇すると、就業転倒発生リスク比も連動して上昇した（0 点（基準群）、1 点:1.83（95%信頼

区間: 1.31-2.55）、2 点以上: 3.19（95%信頼区間: 2.10-4.87）。

D) 考察

本研究は、OFRAT-5 の信頼性と予測妥当性を、既存データを用いて検証した。その結果、OFRAT-5 の信頼性は良好であり、就業転倒の 5 つのリスクを積算して評価することで就業転倒の危険度を予測できることが明らかとなった。さらに、OFRAT-5 は、2 分以内に評価を完了できることから、評価のためのリソース（マンパワーや時間）が限られる産業衛生の現場であっても使用できる可能性が高い。

OFRAT-5 の評価項目は、日常生活上の危険因子として先行研究によって確立されている。本研究は、これらの危険因子が就業転倒においても関連するという知見を新たに追加するものである。産業保健に従事するスタッフは、これらの危険因子の評価を基本健診等に追加で導入することで、転倒災害の危険性の高い高齢労働者を把握できると考えられる。

本研究の研究対象者はシルバー人材センターの会員であり、全参加者が臨時的かつ短時間の仕事に従事していた。そのため、OFRAT-5 がフルタイムの仕事の有する集団に一般化できるかどうかは不明である。今後の研究では、異なる集団に対する外部妥当性を検証する必要がある。また、OFRAT-5 は極めて短時間で評価を完了できるが、実際の産業保健現場における受容性や使用可能性は不明である。これらを検証するための、研究も必要である。

E) 結論

OFRAT-5 は、高齢労働者の職業転倒リスクを迅速に評価するための有効かつ信頼で

きるツールである。このツールは、高齢労働者における修正可能な危険因子の体系的な理解を提供し、産業保健環境における転倒予防戦略の実施に役立つ可能性がある。このツールが、シルバー人材センター以外の集団にも適用可能か検証するために、今後の研究では、OFRAT-5 の外部妥当性やユーザビリティを検証する必要がある。

F) 健康危険情報

なし

G) 研究発表

(ア) 論文発表

なし

(イ) 学会発表

1. Osuka Y, Okubo Y, Hatanaka S, Maruo K, Oka H, Nakata Y, Stephen R Lord, Sasai H. Predictive validity and reliability of the short-form Occupational Fall Risk Assessment Tool. The 10th Biennial Australia and New Zealand Falls Prevention Conference, Perth, 2023.11.27-28.
2. 大須賀洋祐. 高齢労働者に対する健康・安全対策：評価と介入. 第 71 回日本職業・災害医学学術大会. 福岡. 2023.12.9-10.

H) 知的財産権の出願・登録状況

(ア) 特許取得

なし

(イ) 実用新案登録

なし

OFRAT 短縮版の外部妥当性検証

詳細は分担研究報告書を参照されたい。

A) 研究目的

OFRAT-5 の外部妥当性を検証するための多施設コホートを開始した。本報告書では、令和 5 年度に収集したベースラインデータの集計値を報告する。

B) 研究方法

(ア) 研究対象者

この多施設コホートは、国立長寿医療研究センターと東京都健康長寿医療センターが実施するコホート研究に参加する者の内、月に 4 日以上就労実績がある者で研究参加への同意を得られたものを研究対象者とした。

(イ) 倫理面への配慮

本研究は、ヘルシンキ宣言および文部科学省・厚生労働省・経済産業省が定める「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて研究計画書を作成され、国立長寿医療研究センター倫理・利益相反委員会および東京都健康長寿医療センター倫理審査委員会の承認を得た上で実施されたものである。

(ウ) 測定項目

ベースライン調査では、性、年齢、就業状況に加えて、OFRAT-5 の評価項目、過去一年間の就業転倒状況を収集した。

C) 研究結果

(ア) 新規登録

国立長寿医療研究センターでは 28 名、東京都健康長寿医療センターでは 367 名、合計 395 名の登録が完了した。

(イ) 対象者の基本的特徴

対象者の平均年齢は 75.8 ± 4.0 歳で、

51.1%が女性であった。

月に12日以上就業している者は289名(73.5%)、1日に6時間以上就業している者は195名(49.6%)であった。職務の内訳は、専門・技術職37名(9.4%)、管理職34名(8.7%)、事務職54名(13.8%)、保安職5名(1.3%)、技能・労務職29名(7.4%)、サービス・販売職89名(22.7%)、農林漁業1名(0.3%)、農林漁業以外の自営職17名(4.3%)、その他の職業177名(45.2%)であった。

(ウ) 過去一年間の就業転倒歴

17名/395名(4.3%)が、過去一年間に就業転倒を経験していた。

(エ) OFRAT-5と就業転倒歴との関連

OFRAT-5のリスクスコアを曝露、過去一年間に発生した就業転倒歴の有無をアウトカムとした二項ロジスティック回帰分析の結果、リスクスコアが増加すると、就業転倒発生のおッズも増加した(スコア1点上昇によるオッズ比[95%信頼区間]:3.14[1.75, 5.63])。

D) 考察

本研究では、OFRAT-5の外部妥当性を検証するために、シルバー人材センターとは異なる集団でOFRAT-5のリスクスコアと就業転倒歴との関連を検討した。その結果、リスクスコアの増加に伴い就業転倒のおッズも増加した。

本研究の対象者の内、75歳以上を占める割合は54%であったのに対し、シルバー人材センターでは43%と年齢層はやや高かった。一方、本研究の対象者の転倒経験率は14.2%であり、シルバー人材センターの転倒経験率と比較してやや低値であった(17.2%)。対象者の背景情報が異なることが

要因であると考えられる。

E) 結論

OFRAT-5は、シルバー人材センター以外の集団においても就業転倒のリスク評価に有用である可能性がある。

F) 健康危険情報

なし

G) 研究発表

(ア) 論文発表

なし

(イ) 学会発表

なし

H) 知的財産権の出願・登録状況

(ア) 特許取得

なし

(イ) 実用新案登録

なし

厚生労働省科学研究費補助金(労働安全衛生総合研究事業)

分担研究報告書

Occupational Fall Risk Assessment Tool (OFRAT) 短縮版の外部妥当性検証

研究分担者 畑中翔 東京都健康長寿医療センター研究所 研究員

研究分担者 笹井浩行 東京都健康長寿医療センター研究所 研究副部長

本研究では、転倒リスク評価ツール Occupational Fall Risk Assessment Tool (OFRAT) 短縮版の外部妥当性を検討するための調査を実施するため、対象者の募集・組み入れを開始し、OFRAT 短縮版によるリスクスコアと過去一年の就業転倒経験の有無との関連を横断的に検討した。その結果、395 名の対象者が組み入れられ、リスクスコアと就業転倒歴との間に有意な関連がみられた。OFRAT 短縮版は就業転倒の発生の予測に有用な可能性があるが、縦断的な解析による検証を要する。

A) 研究目的

本研究の目的は、高年齢労働者の就業転倒リスクを簡便に評価可能な Occupational Fall Risk Assessment Tool (OFRAT) の短縮版の外的妥当性を検証するための調査フィールドを確立することである。本年度は、組み入れた対象者の特徴および OFRAT 短縮版のスコアと就業転倒歴の有無との関連を報告する。

B) 研究方法

1) 対象者

対象者は、東京都健康長寿医療センター研究所が実施するお達者健診（2023 年 10 月～11 月に実施）板橋健康長寿縦断研究（2024 年 2 月に実施）と国立長寿医療研究センターが実施する東浦研究（2024 年 2 月に実施）の参加者から募集した。

対象者の包含基準は、1 日/週以上または

4 日/月以上勤務する 65 歳以上の高年齢労働者（パートタイム・派遣労働者を含む）とした。

2) OFRAT 短縮版

OFRAT 短縮版の評価項目は修正可能であるか、迅速（2 分以内）に評価可能であるか、臨床的に妥当であるか、の観点から 1) 過去一年間の転倒歴、2) 糖尿病、3) 転倒リスクを高める薬の使用、4) 主観的な聴力低下、5) 遅いステッピング（8 回ステップテストが 10 秒以上）の 5 項目とした。それぞれの項目を二値変数によって得点化した（該当: 1 点、非該当: 0 点）。5 項目の得点を合計し、これをリスクスコアとした。

3) 倫理面への配慮

本研究は、ヘルシンキ宣言および厚生労働省が定める「疫学研究に関する倫理指針」に基づいて研究計画書を作成し、国立長寿医療研究センターおよび東京都健康長寿医療センター倫理審査委員会の承認を得た上

で実施された。

4) 統計解析

OFRAT 短縮版に含めた項目と就業転倒歴との関連は、OFRAT 短縮版のリスクスコアを曝露、過去一年間に発生した就業転倒歴の有無をアウトカムとした二項ロジスティック回帰分析で検討した。

C) 研究結果

対象者数は 395 名(75.8 ± 4.0 歳)であった。対象者のベースライン情報は表 1) のとおりである。

表 1) 対象者情報

	n = 395
年齢 (75 歳以上), 該当	214 (54.2)
性 (女性), 該当	202 (51.1)
就業日数 (12 日/月以上), 該当	289 (73.5)
就業時間 (6 時間/日以上), 該当	195 (49.6)
専門・技術職, 該当	37 (9.4)
管理職, 該当	34 (8.7)
事務職, 該当	54 (13.8)
保安職, 該当	5 (1.3)
技能・労務職, 該当	29 (7.4)
サービス業・販売職, 該当	89 (22.7)
農林漁業, 該当	1 (0.3)
農林漁業以外の自営職, 該当	17 (4.3)
その他の職業, 該当	177 (45.2)
過去 1 年間の転倒歴, あり	56 (14.2)
糖尿病, あり	44 (11.1)
転倒リスク増加薬の使用, あり	28 (7.1)
聴力の問題, よくある以上	22 (5.6)
8 回ステップテスト, 10 秒以上	74 (18.9)

注 | データは n (%) から示した。

対象者の内訳はお達者健診参加者が 148 名、板橋健康長寿縦断研究参加者が 219 名、東浦研究参加者が 28 名であった。395 名のうち、過去 1 年間に就業転倒を経験したのは 17 名 (4.3%) であった。

二項ロジスティック回帰分析の結果、OFRAT 短縮版のスコアが増加すると、就業転倒発生のオッズも増加した (スコア 1 点上昇によるオッズ比 [95% 信頼区間] : 3.14 [1.75, 5.63])。

D) 考察

本研究では、高齢労働者に向けた、迅速に実施可能な就業転倒リスク評価ツールを開発し、地域在住の高齢就労者 365 名を対象に、OFRAT 短縮版のスコアと就業転倒経験の有無との関連を調べた。その結果、OFRAT 短縮版のスコアと就業転倒の発生に関連がみられた。

OFRAT 短縮版は自記式の質問 4 項目とステップテストのみで評価するものであり、狭いスペースで迅速に実施可能である。10 項目からリスクを評価する従前の OFRAT と比較して項目が半数となったことで、遙かに実施が簡便であり、労働安全対策に費やせる人・時間・場所などのリソースが少ない環境においても実施がしやすく、安全意識の醸成に寄与すると考えられる。

本研究の研究対象者のうち、過去 1 年間で転倒を経験したのは 56 名 (14.2%) であり、シルバー人材センターの会員を対象に OFRAT の有用性を検証した過去の研究 (17.2%) よりも転倒を経験した対象者の割合が低い。これは対象者の性別 (本研究の方が女性の割合が多い) や仕事の内容などの影響を受けている可能性がある。従前の研究対象者とは異なる特徴を持った集団で有用性を検討できることは外部妥当性の観点から意義があることである。

今後は、対象者の募集を引き続き実施した上で、前向き調査による転倒発生データを用いた縦断的な解析を通して、OFRAT 短縮版の予測妥当性を検討する。

E) 結論

OFRAT 短縮版は、就業転倒のリスクが

高い高年齢労働者を特定する上で有用な可能性がある。

F) 研究発表

1. 論文発表 該当なし
2. 学会発表 該当なし

G) 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
予定なし
2. 実用新案登録
予定なし

研究成果の刊行に関する一覧表

刊行物なし

令和6年5月17日

厚生労働大臣
~~(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿~~
~~(国立保健医療科学院長)~~

機関名 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
所属研究機関長 職 名 理事長
氏 名 荒井 秀典

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 労働安全衛生総合研究事業
- 研究課題名 高齢労働者の転倒災害防止に向けた Occupational Fall Risk Assessment Tool (OFRAT) 短縮版の開発
- 研究者名 (所属部署・職名) フレイル研究部・副部長
(氏名・フリガナ) 大須賀 洋祐 (オオスカ ヨウスケ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	国立長寿医療研究センター	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和6年5月17日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
所属研究機関長 職名 理事長
氏名 鳥羽 研二

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 労働安全衛生総合研究事業
- 研究課題名 高齢労働者の転倒災害防止に向けた Occupational Fall Risk Assessment Tool (OFRAT) 短縮版の開発
- 研究者名 (所属部署・職名) 自立促進と精神保健研究チーム・研究員
(氏名・フリガナ) 畑中 翔・ハタナカ ショウ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	東京都健康長寿医療センター	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和6年5月17日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
—(国立保健医療科学院長) —

機関名 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
所属研究機関長 職 名 理事長
氏 名 鳥羽 研二

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 労働安全衛生総合研究事業
- 研究課題名 高齢労働者の転倒災害防止に向けた Occupational Fall Risk Assessment Tool (OFRAT) 短縮版の開発
- 研究者名 (所属部署・職名) 自立促進と精神保健研究チーム・研究副部長
(氏名・フリガナ) 笹井 浩行・ササイ ヒロユキ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	東京都健康長寿医療センター	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

「厚生労働科学研究費における倫理審査及び利益相反の管理の状況に関する報告について
(平成26年4月14日科発0414第5号)」の別紙に定める様式(参考)

令和 6年 5月 17日

厚生労働大臣

機関名 国立大学法人筑波大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 永田 恭介

次の職員の(令和)5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 労働安全衛生総合研究事業
- 研究課題名 高齢労働者の転倒災害防止に向けた Occupational Fall Risk Assessment Tool (OFRAT) 短縮版の開発
- 研究者名 (所属部署・職名) 体育系・教授
(氏名・フリガナ) 中田 由夫 (ナカタ ヨシオ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況 受講 未受講

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 国立大学法人東京大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 藤井 輝夫

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費補助金の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 労働安全衛生総合研究事業2. 研究課題名 高齢労働者の転倒災害防止に向けた Occupational Fall Risk Assessment Tool (OFRAT) 短縮版の開発3. 研究者名 (所属部署・職名) 医学部附属病院・特任准教授
(氏名・フリガナ) 岡 敬之・オカ ヒロユキ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
		審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。